

パーキンソン病とは どんな病気？

パーキンソン病は、手足のふるえ、ぎこちない動作、小刻みの歩行などの症状があらわれる進行性の病気で、国が定めた指定難病のひとつです。この病気は脳内の神経伝達物質のひとつであるドーパミンの不足でおこりますが、その原因はまだ分かっていません。

患者さんはどのくらいいるのですか

全体の発症率は1000人に1~1.5人程度ですが、高齢になるほど発症率が高くなり、60歳以上では約100人に1人にのぼります。発症のピークは50~60歳代ですが、40歳代からは注意が必要です。
(少数ですが20歳代、30歳代での発症もみられます)

パーキンソン病の主な症状

パーキンソン病4大症状

①手足のふるえ

安静にしている状態で手足にふるえが起こる



動作緩慢



③緩慢な動作

動作が遅くなったり、動作そのものが少なくなる。顔の表情もあまり変わらなくなる

②筋肉の緊張

関節を曲げ伸ばししたとき、筋肉が固く緊張し、抵抗を感じてぎこちない動きになる



姿勢保持障害



④姿勢保持障がい

からだがり傾いたとき、足を出して支えたり、姿勢をうまく立て直すことができず、転びやすくなる

治療薬が研究開発され、現在のパーキンソン病の平均寿命は全体の平均とほとんど変わらないと考えられています。転倒による骨折や他の病気をしないことはパーキンソン病の経過にとっても大事です。

難病の患者さんのなかには、援助や配慮を必要とすることが外見からは分かりにくい方もおられますので、困っているようであれば、援助や配慮をお願いします。

裏面もご覧ください



知ってください！「難病」のこと

「難病」って聞いたことはあるけど、
あんまりよく知らないな…
何かお手伝いできることがあればするんだけど…



難病は、発病の原因が明らかになっておらず、治療方法が確立していない病気なんだ。
発症割合は低いけれど、誰もが発症する可能性があるんだよ。

「難病の患者に対する医療等に関する法律」において、

難病は「発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより、長期にわたり療養を必要とすることとなるもの」と定義されています。



難病の患者さんの症状は様々です。長期の療養生活を必要としますが、適切な治療等を行い管理を継続することで、在宅での療養生活や就労、就学が可能な疾病もあります。

○難病のうち、国が指定する 338 疾患に該当する方に対して、法律に基づき医療費の自己負担の一部を公費で負担する制度があります。（指定難病 医療費助成事業）

* 対象となる疾病などについては、「難病情報センター」のサイトにて確認できます。
<http://www.nanbyou.or.jp/>

* 詳しくは、大阪市の難病対策に関する大阪市ホームページにてご確認ください。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000074083.html>

なお、小児の方へは、「小児慢性特定疾患 医療費助成制度」もあります。

ご存知ですか？ヘルプマーク

難病の患者さんのなかには、ヘルプマークをお持ちの方もおられます。

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が援助を得やすくなるよう作成されたマークです。ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。



(赤地に白の十字とハート)

電車・バスの中で、
席をおゆずりください

駅や商業施設等で、声をかける
などの配慮をお願いします

災害時は、安全に避難する
ための支援をお願いします

お問合せ先

大阪市健康局大阪市保健所管理課

電話 06-6647-0923